

# 2023年度「お客さま本位の業務運営」の取組状況

---

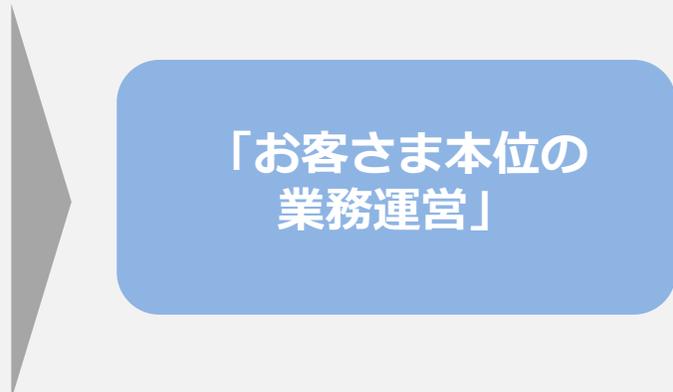
2024年6月



北洋証券は、北洋銀行グループの一員として、お客さま本位の業務運営の徹底に向け、「安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針」を策定し、6つの「取組方針」に基づき具体的な取り組みを実践してまいりました。

2023年度までの取組状況について、金融庁の定める比較可能な共通KPIとともに報告いたします。

【取組方針 1】	お客さま本位に徹したコンサルティングの実践
【取組方針 2】	お客さまの利益を第一として管理体制の強化
【取組方針 3】	手数料の分かりやすい説明
【取組方針 4】	重要な情報の分かりやすい説明
【取組方針 5】	お客さまに寄り添ったサービスの提供
【取組方針 6】	お客さま本位を実践するための体制構築



## 【目次】

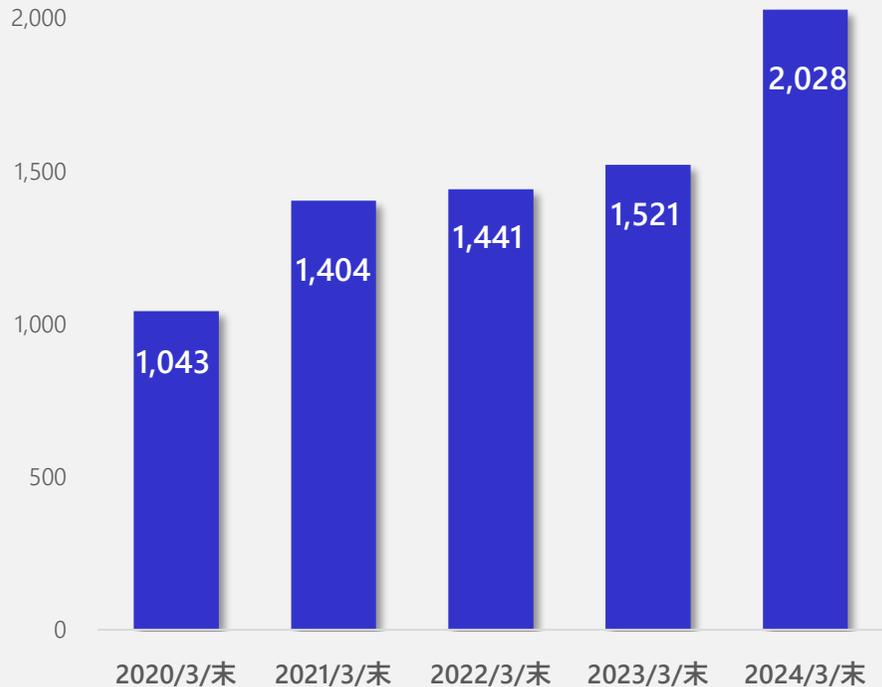
- 1. お客さま本位に徹したコンサルティングの実践 …… P2～P3
- 2. お客さまの利益を第一とした管理体制の強化 …… P4
- 3. 手数料の分かりやすい説明 …… P4
- 4. 重要な情報の分かりやすい説明 …… P5
- 5. お客さまに寄り添ったサービスの提供 …… P6
- 6. お客さま本位を実践するための体制構築 …… P7
- 7. 投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI …… P8～P10

## 【取組方針1】お客さま本位に徹したコンサルティングの実践①

- 中長期的な資産運用の観点から、お客さまのニーズにあった商品を提案しています。
- 2024年3月末の預り資産残高は、主に投資信託の積み上げにより、前年比507億円の増加となりました。
- また、銀行と連携し、投資一任運用サービス「北洋証券ファンドラップ・ON COMPASS+」の利用先を拡げ、お客さまのライフプランの実現に努めております。

### 預り資産残高推移

(単位：億円)  
2,500



### 投信残高推移

(単位：億円)



### 「ON COMPASS+」の利用先数推移

(単位：件)



## 【取組方針1】お客さま本位に徹したコンサルティングの実践 ②

- ▶ お客さまの多様なニーズにお応えするため、様々なカテゴリーの商品を幅広くラインアップしております。
- ▶ 投資信託の商品数は、取扱い商品の見直し（ファンド評価）により、海外債券・海外REITなどを中心に前年比9本減少しました。
- ▶ ファンド評価は、「お客さまの資産運用に資する商品のご提供」を目的に「定量評価」「定性評価」の視点から年2回実施しております。

### 投資信託ラインアップ推移

アセットクラス (2023年3月末)			
株式	国内	13	18.6%
	海外	29	41.4%
債券	国内	5	7.1%
	海外	10	14.3%
REIT	国内	3	4.3%
	海外	7	10.0%
バランス	国内	1	1.4%
	海外	9	12.9%
その他	金	2	2.9%
<b>合計</b>		<b>79</b>	



アセットクラス (2024年3月末)			
株式	国内	12	17.1%
	海外	30	42.9%
債券	国内	5	7.1%
	海外	7	10.0%
REIT	国内	3	4.3%
	海外	5	7.1%
バランス	国内	1	1.4%
	海外	6	8.6%
その他	金	2	1.4%
<b>合計</b>		<b>70</b>	

### ファンド評価

#### 北洋証券「ファンド評価」について

当社では、「お客さまの資産運用に資する商品のご提供」を目的として、「ファンド評価」を年2回実施しております。ファンド評価は過去のパフォーマンスを評価する「定量評価」と将来のパフォーマンスの信頼性を評価する「定性評価」からなり、運用パフォーマンスのみならず、商品性や運用体制に関する品質も含めたファンドの総合的な価値を評価しております。



\*1 リターンを高めるための相対リスクを指しているが必ずしも、数値が高いほど運用成績が良いことを示す。  
\*2 運用コストの削減に努めることにより、運用コストを削減することによって期待リターンを高めることが期待される。  
\*3 投資信託の平均運用成績に劣る、運用コストの削減によること。

North Pacific Securities

北洋証券  
投資信託ラインナップ  
2024年 1月



## 【取組方針2】お客様の利益を第一とした管理体制の強化

- ▶ お客様のお取引における利益相反の可能性を適切に把握・管理するため、「利益相反管理方針」「利益相反管理規程」を定めております。商品の選定時は、提供会社から申受ける手数料の水準等の取引条件について、商品選定・販売部門とは独立したコンプライアンス統括部（利益相反管理部署）が適切性を確認しております。
- ▶ 当社は、お客さまより「情報共有に関する同意書」を申し受けたくうえで、北洋銀行よりお客さまのご紹介を受けております。なお、北洋銀行グループでは、利益相反の可能性について注意を要する「商品組成会社」「商品運用会社」は有していません。

## 【取組方針3】手数料の分かりやすい説明

- ▶ お取引に関するリスクや手数料、「契約締結前交付書面」などをホームページ上に掲載しているほか、ホームページの案内用リーフレットを作成・交付し、手数料に係る適切な情報提供に努めております。
- ▶ また、ご提案の際は、「重要情報シート」や販売用資料などを活用し、各種手数料の丁寧な説明に努めております。

### 当社ホームページ

The screenshot shows the 'リスク・手数料等' (Risk and Fees) section of the Nippon Kyosei website. It features a navigation menu with 'リスク・手数料等' highlighted. Below the menu, there are three tabs: '株式等の取引に係るリスクや手数料' (Risk and fees for stock transactions), '債券の取引に係るリスクや手数料' (Risk and fees for bond transactions), and 'その他お取引に関する情報' (Other information). The '株式等の取引に係るリスクや手数料' tab is active, displaying a sub-section titled '株式等の取引に係るリスクや手数料' with a brief introduction and a red warning: '株式等の取引により、損をすることがあります。' (Transactions with stocks may result in losses).

### リーフレット・販売用資料

The screenshot shows a brochure for the 'デジタル世界株式ファンドシリーズ' (Digital World Stock Fund Series). The top section is titled 'リスク・手数料等説明ページのご案内について' (Information about the risk and fee explanation page). It provides the URL 'https://www.kiyo-sei.co.jp/risk/' and a QR code. Below this, there are two fund profiles:

- デジタル世界株式ファンド** (Digital World Stock Fund):
  - 運用会社: キャピタルインターナショナル
  - 主な投資対象: 世界各国の証券取引所等で取引されている株式
  - 運用方針及び特色: キャピタルグループのグローバルな調査力、運用力を活用し、複数のポートフォリオ・マネージャーが運用に携わることによって、投資対象やアイデアの分散を図り、安定的かつ継続的に運用成果を目標とします。
  - 申込手数料(税込): (店頭) 上記3.3% (オンライン) 2.97%
  - 信託報酬(年率・税込): 1.701%程度
  - 信託財産留保額: なし
- デジタルインベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ ICA** (Digital Investment Company of America ICA):
  - 運用会社: キャピタルインターナショナル
  - 主な投資対象: 米国の証券取引所等で取引されている株式
  - 運用方針及び特色: キャピタルグループのグローバルな調査力、運用力を活用し、複数のポートフォリオ・マネージャーが運用に携わることによって、投資対象やアイデアの分散を図り、安定的かつ継続的に運用成果を目標とします。
  - 申込手数料(税込): (店頭) 上記3.3% (オンライン) 2.97%
  - 信託報酬(年率・税込): 1.133%
  - 信託財産留保額: なし

At the bottom, there is a small note: 'ファミリーファンド方式のファンドの場合、「主な投資対象」にはマザーファンドを通じて投資する「実質的な主要投資対象」を記載しています。各商品の詳細につきましては「投資信託取扱い説明書」をご覧ください。' (In the case of a family fund-style fund, the 'main investment target' includes the 'substantive primary investment target' invested through the master fund. For details of each product, please see the 'Investment Trust Handling Explanation Book'.)

# 【取組方針 4】 重要な情報の分かりやすい提供

- 金融商品の提案・販売にあたり、「重要情報シート」や「タブレット提案ツール」などを活用し、お客さまが投資判断を行う際に必要な情報を、分かりやすく丁寧に説明するよう努めております。
- 商品カテゴリ毎のリスク、仕組債のリスク・リターン実績などは、当社ホームページ「リスク・手数料等説明ページ」でご確認いただけます。
- 商品説明の際は、販売用資料に加え、同種の商品と比較が容易な「重要情報シート」（個別商品編）を使用しております。

## 重要情報シート

### 重要情報シート（金融事業者編）

#### 北洋証券のご紹介

#### 1. 当社の基本情報（当社は、お客様に金融商品の販売・仲介・契約紹介を行う者です）

社名	北洋証券株式会社
登録番号	北海道財務局長（金商）第1号
加入協会	
当社の概要を記した	

#### 重要情報シート（個別商品編）

2. 取扱商品（当	1. 商品等の内容（当社は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）
預金（投資性なし）	金融商品の名称・種類 キャピタル日本株式ファンド
国内株式	組成会社（運用会社） キャピタル・インターナショナル株式会社
円建て債券	販売委託元 キャピタル・インターナショナル株式会社
仕組債	金融商品の目的・機能 信託財産の長期的な成長を目指して運用を行うことを基本とします。主として日本の株式に投資することで信託財産の長期的な成長を目指します。
R E I T	商品組成に携わる事業者が想定する購入層 ・主に日本の株式への投資を通じて長期的な資産成長を求める投資家者選んでいます。
保険（投資リスクなし）	バックアップの有無 -
ラップ口座	クーリング・オフの有無 ありません。
※ 各種先物オプション	次のような質問があれば担当者にお問い合わせください。（質問例） Q. あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、みさひという根拠は何か。 Q. この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。 Q. この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

#### 3. 商品ライナップ

○お客さまの安定した商品ライナップを、お客さまの長期のまわりまわります。	組入信託証券等の価格の変動による影響を受けます。 組入信託証券等の発行者の倒産や財務状況の悪化による影響を受けます。 外貨建資産に投資を行った場合には、為替相場の変動による影響を受けます。 各ファンドへの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴います。 「価格変動リスク」「信用リスク」「流動性リスク」
○当社は、北洋証券を実現するための	過去1年間の収益率 26.4%（2024年2月末現在）
	過去5年間の収益率 平均9.3% 最低-12.5%（2019年5月） 最高52.9%（2021年3月） （2019年3月～2024年2月の各月末における直近1年間の数字）
	交付目録見書参照箇所（リスク運用実績） 損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目録見書】のP3~4、運用実績の詳細は交付目録見書のP5に記載しています。

#### 4. 苦情・相談窓口

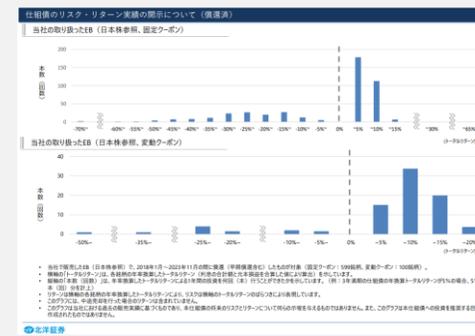
当社にお客さま担当	次のような質問があれば担当者にお問い合わせください。（質問例） Q. 上記リスクについて、私が理解できているように説明してほしい。 Q. 相対的にリスクの低い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。
加入協会共通の（白）	
金融庁金融サービス	
※ 各窓口の詳細	

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）	
購入時に支払う費用（販売手数料含む）	1億円未満：3.30%（税込3.00%）、1億円以上：1.65%（税込1.50%）
継続的に支払う費用（信託報酬含む）	北洋証券オンラインサービス：1億円未満：2.97%（税込2.70%） 信託報酬は、年1.584%（税込）となります。
運用成果に反映した費用（成功報酬含む）	かかりません。
交付目録見書参照箇所（費用）	上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目録見書】のP7に記載しています。

次のような質問があれば担当者にお問い合わせください。（質問例）  
Q. 私がこの商品に100万円を投資したら、それらのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。  
Q. 費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

## タブレット提案ツール（ウェルスアドバイザー）

## 当社ホームページ



## 【取組方針5】 お客さまに寄りそったサービスの提供

- ▶ お客さまの資産状況、投資経験、投資目的、ニーズ等を十分にお伺いしたうえで、最適な商品やサービスをご提案しております。特にご高齢のお客さまに対する提案・販売を行う場合は、お客さまにとってふさわしい商品かどうかについて、より慎重に対応しております。
- ▶ 北洋銀行と連携し、資産運用フェアに出展しており、お客さまセミナーを通じた資産運用に係る情報提供に努めております。昨年度は2024年1月スタートの新NISA制度を中心としたセミナーを実施し、オンラインを含め合計352名のお客さまにご参加を頂いております。

### 資産運用フェアへの出展（北海道新聞社主催）

貯蓄から投資まで人生100年時代に備える  
**第6回 新資産運用フェア** 11/25(土)・26(日)  
 (各日9:30~16:30) **入場無料**  
 《会場》ロイトン札幌 3F ロイトンホール

銀行証券投資不動産など、資産づくりに関する学び相談いただけます。  
 会場までファイナンシャルプランナーの無料相談コーナーあり!

**出展企業・団体一覧**

アクサ生命	SMBC日興証券	三井オンライン	住友不動産
SEKISUI HOUSE	大和コネクティブ証券	大和証券	大和ハウス工業株式会社
日本証券業協会	NOMURA 野村証券	北洋銀行	北洋証券
日本不動産保証協会	MIZUHO みずほ証券	MUFG 三菱UFJ銀行	Rakuten

**特別講演** 定員各500名

11/25 10:00~11:00 「世界経済の先行きとあるべき資産運用のかたち」  
 伊藤 洋一 氏

11/26 10:00~11:00 「目指せ! 楽しいマネーライフ」  
 バックンマックス

**出展ブース** 金融機関から不動産・保険会社まで、バラエティ豊かな企業が多岐にわたる。資産づくりに関して、気軽に相談できます。

**無料相談コーナー** 会場までファイナンシャルプランナーに無料で相談できるコーナーをご用意。

**入場プレゼント** 各ブースを訪問し、アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で豪華な商品をお渡しします。

**講演セミナー等観覧プレゼント** 同日の特別講演と会場セミナー(1講座以上)を会場にて受講の方に、観覧をプレゼント(1日一人1席まで)。抽選で**北洋創礼**。

～本格的に長期投資をお考えの方へ～  
**新NISAで考える資産の健康管理**

北洋銀行  
 北洋証券

**資産づくりの第一歩**  
 ～「新NISA制度」の仕組みと活用法～

北洋銀行  
 北洋証券

セミナーテーマ	参加人数		
	合計	うち会場	うちオンライン
新NISAで考える資産の健康管理	167名	83名	84名
資産づくりの第一歩	185名	93名	92名

## 【取組方針6】 お客さま本位を実践するための体制構築

- ▶ 各種研修や商品勉強会、専門資格の取得推奨等を通じて、営業員のコンサルティング能力を有する人材の育成に取り組んでいます。商品研修・勉強会については、専門性を有する外部講師にご協力いただいております、お客さまのニーズにかなう提案に繋げております。
- ▶ 当社は、外部評価機関（株）格付投資情報センター）による顧客本位の金融販売会社評価において、「S」の評価を取得しております。預り資産拡大を重視した業績評価体系など、お客さま本位を実践するための体制が評価され、格付は前回評価「A+」から「S」に引き上げとなりました。

### 2023年度 各種研修実施状況

商品研修・勉強会（うち外部講師）	62回（59回）
マーケット研修	38回
コンプライアンス研修	12回
営業責任者研修	2回
内部管理責任者研修	2回
情報セキュリティ研修	2回
合計	118回

### R&I 顧客本位の金融販売会社評価

評価レポート
R&I 顧客本位の  
金融販売会社評価

評価公表日：2024年3月15日

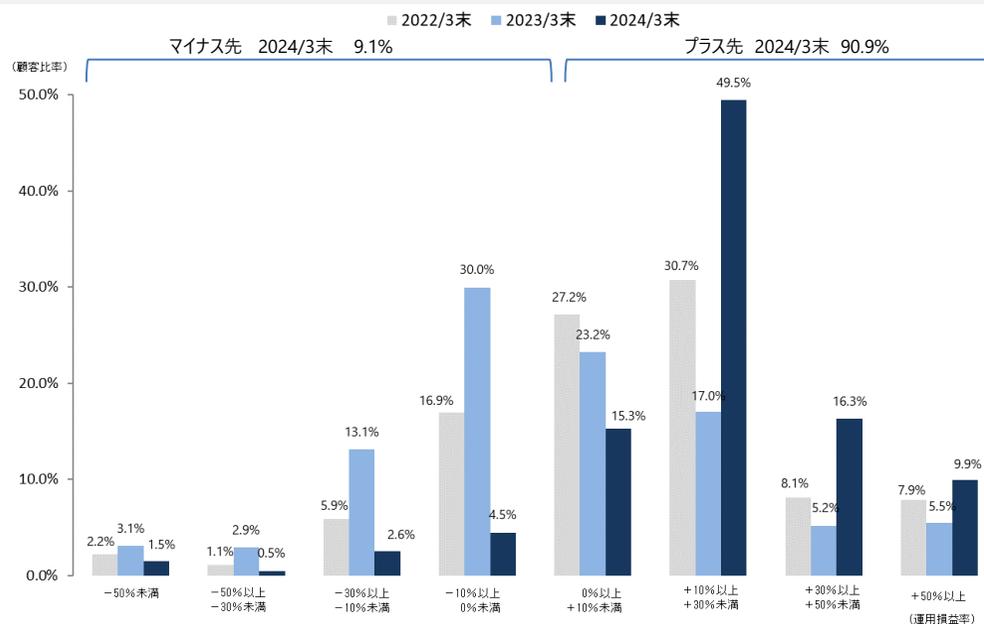
評価対象	評価符号
<b>北洋証券</b>	<b>S</b> <small>顧客本位 R&amp;I</small>
<p><b>【会社概要】</b> 北関東を地盤とする証券会社で前身は上光証券。2018年に北洋銀行の完全子会社となった。</p> <p><b>【評価引き上げ】</b> 北洋銀行と連携を取り、担当役員、担当部署主導のもと顧客本位の業務運営（Fiduciary Duty：FD）を推進している点、定業及び定性評価を取り入れた商品の選定・モニタリングを行っている点、収益項目を排除し、預り資産の拡大を重視した業績評価体系にしている点などを評価し、「A+」から「S」に引き上げた。</p> <p style="text-align: center;"><b>評価のポイント</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 顧客本位の業務運営に係る方針等の策定・公表等 北洋銀行と連携し、担当役員、担当部署主導のもと、顧客本位の業務運営（Fiduciary Duty：FD）を推進している。方針の連携を確認するためにふさわしい独自の成果指標（Key Performance Indicator：KPI）を策定して内外に公表するとともに、PDCA（計画・実行・評価・改善）サイクルを回していくことが期待される。</li> <li>2. 顧客の最善の利益の追求 顧客の最善の利益を「顧客の取るべきリスクの中でリターンを最大化すること」と定義し、それを実現するために従業員の専門性向上を進めている。FDを企業文化として定着させていくと共に、その成果を確認していくための各種取組みの浸透状況を注視していく。</li> <li>3. 金融商品の販売方針策定及び販売、レビュー 銀証連携を進めており、証券は富裕層を主な対象にしている。投資信託の販売額、残高ともに増加傾向にある。仕組債はガイドラインを作成し、本部のチェックを通して販売しており、販売額、残高ともに減少している。保険は取り扱っていない。営業員のツール類の整備や利用半向上策をはじめとする営業支援態勢の強化が進むが注目していく。</li> <li>4. 金融商品の選定・モニタリング 銀行と連携を取りながら、明確な役割分担、プロセスのもとに取扱投資の選定を行っている。選定・モニタリングの際、定業評価は外部の投資評価会社を活用し、定性評価は自社で行っている。</li> <li>5. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等 営業店、営業員ともに業績評価に収益項目はなく、預り資産残高の拡大を重視した体系になっている。FDの要素を明確に取り入れた評価項目や表彰体系の導入など、従業員がFDを一層推進していくための動機づけを行っていくことが求められる。</li> </ol>	

〒101-8004 東京都千代田区神田神保町1丁目22番地4F 株式会社格付投資情報センター 投資評価本部  
 TEL 03-5271-0300  
 E-mail randi\_608@rac.jp      www.randi.jp

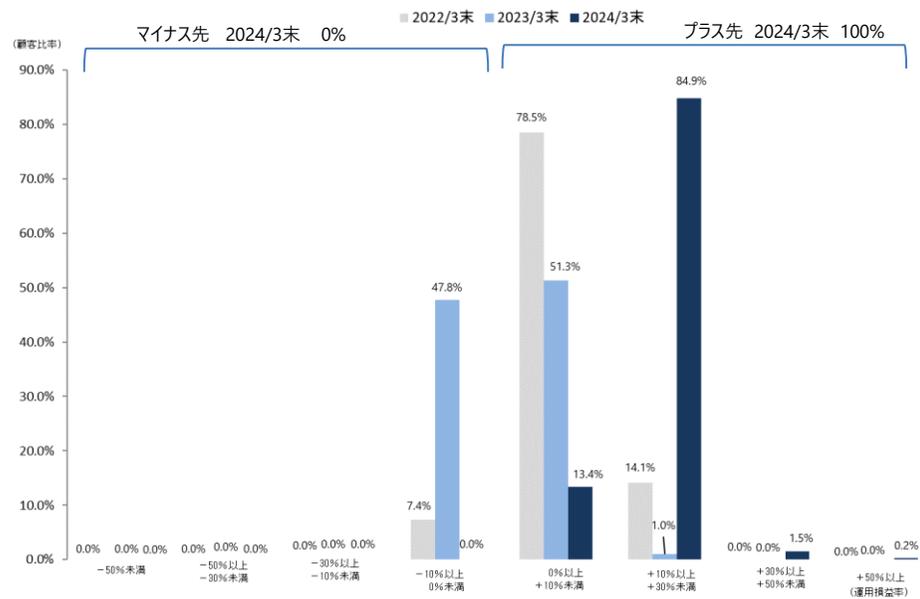
# 【投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI】①運用損益別顧客比率

▶ 株式市場の活況を背景に、2024年3月末で投資信託を保有されているお客さまのうち、運用益がプラスのお客さまは、90.9%（前年比+40ポイント）となりました。また、ファンドラップ（ON COMPASS+）については、運用益プラスのお客さまは100%（前年比+47.8ポイント）となりました。

投資信託の運用損益別顧客比率



(参考) ファンドラップの運用損益別顧客比率



<運用損益の算出方法>

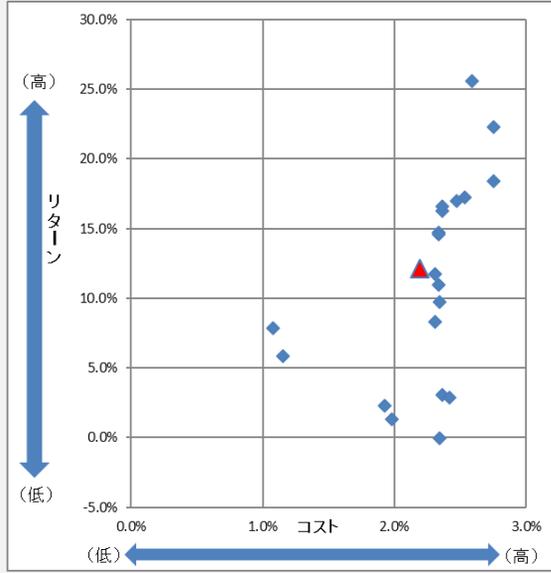
分子：基準日時点の評価金額 + 累計受取分配金(税引後) + 累計売付金額 - 累計買付金額(含む消費税込の販売手数料)  
 (基準時点までに全部売却・償還された銘柄は対象外)

分母：基準日時点の評価金額  
 遡及期間：当該銘柄の購入当初まで遡及

# 【投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI】② 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

▶ 2024年3月末の預り残高上位20銘柄のリターン平均値は、前年比で6.44ポイント上昇し、16.79%となりました。  
また、コストの平均値は0.01ポイント下落し、2.28%、リスクの平均値は0.8ポイント上昇し、17.47%となりました。

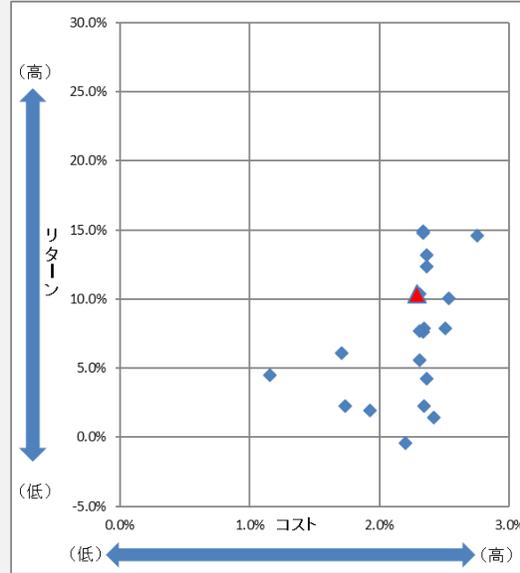
2022年3月末 コスト・リターン



2022/3末 預り残高 上位20銘柄

銘柄名	コスト	リターン
① キャピタル世界株式ファンド	2.36%	16.27%
② ブラックロック・ヘルスサイエンス・ファンド (為替ヘッジなし)	2.33%	14.71%
③ ひふみプラス	1.08%	7.83%
④ 野村未来トレンド発見ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	2.37%	16.58%
⑤ フロンティア・ワールド・インカム・ファンド	2.37%	3.05%
⑥ netWIN GSテクノロジー株式ファンド B (ヘッジなし)	2.75%	22.31%
⑦ アジア・オセアニア好配当成長株オープン (毎月分配型)	2.42%	2.89%
⑧ 新光 US-REIT オープン	2.34%	9.74%
⑨ ワールド・リート・セクション (アジア)	2.31%	8.31%
⑩ 投資のムリエ	1.98%	1.32%
⑪ ブラックロック・ヘルスサイエンス・ファンド (為替ヘッジあり)	2.33%	10.94%
⑫ MHAM豪ドル債券ファンド (毎月決算型)	1.93%	2.27%
⑬ グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド (為替ヘッジなし)	2.53%	17.26%
⑭ ブラックロック・ヘルスサイエンス・F (為替Hなし/年4決算)	2.33%	14.59%
⑮ 新光ブラジル債券ファンド	2.34%	-0.02%
⑯ MHAM J-REIT インテックスファンド (毎月決算型)	1.16%	5.89%
⑰ ワールド・リート・セクション (米国)	2.31%	11.77%
⑱ グローバルAIファンド	2.59%	25.61%
⑲ netWIN GSテクノロジー株式ファンド A (ヘッジあり)	2.75%	18.43%
⑳ ロボット・テクノロジー関連株ファンド-ロボテック-	2.48%	16.96%
残高加重平均値	2.19%	12.12%

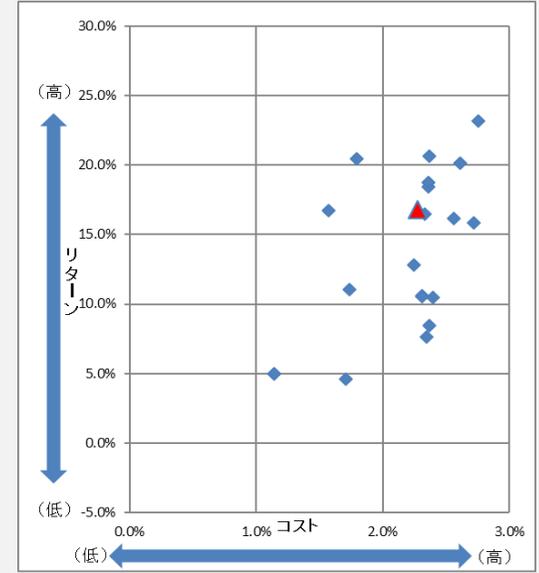
2023年3月末 コスト・リターン



2023/3末 預り残高 上位20銘柄

銘柄名	コスト	リターン
① キャピタル世界株式ファンド	2.36%	12.39%
② ブラックロック・ヘルスサイエンス・ファンド (為替ヘッジなし)	2.33%	14.89%
③ ひふみプラス	1.74%	2.23%
④ 野村未来トレンド発見ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	2.37%	13.19%
⑤ netWIN GSテクノロジー株式ファンド B (ヘッジなし)	2.75%	14.60%
⑥ フロンティア・ワールド・インカム・ファンド	2.37%	4.24%
⑦ 新光 US-REIT オープン	2.34%	7.87%
⑧ フィデリティ・Jリート・アクティブ・ファンド	1.71%	6.13%
⑨ ブラックロック・ヘルスサイエンス・ファンド (為替ヘッジあり)	2.33%	7.65%
⑩ ブラックロック・ヘルスサイエンス・F (為替Hなし/年4決算)	2.33%	14.76%
⑪ BNY Mellonリアル・リターン・ファンドBコース (為替ヘッジなし)	2.51%	7.90%
⑫ アジア・オセアニア好配当成長株オープン (毎月分配型)	2.42%	1.42%
⑬ 投資のムリエ	2.20%	-0.44%
⑭ MHAM豪ドル債券ファンド (毎月決算型)	1.93%	1.95%
⑮ グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド (為替ヘッジなし)	2.53%	10.03%
⑯ ワールド・リート・セクション (アジア)	2.31%	5.58%
⑰ フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド (資産成長型)	2.31%	7.69%
⑱ MHAM J-REIT インテックスファンド (毎月決算型)	1.16%	4.48%
⑲ 新光ブラジル債券ファンド	2.34%	2.27%
⑳ フィデリティ・USリート・ファンドB (為替ヘッジなし)	2.31%	10.40%
残高加重平均値	2.29%	10.35%

2024年3月末 コスト・リターン

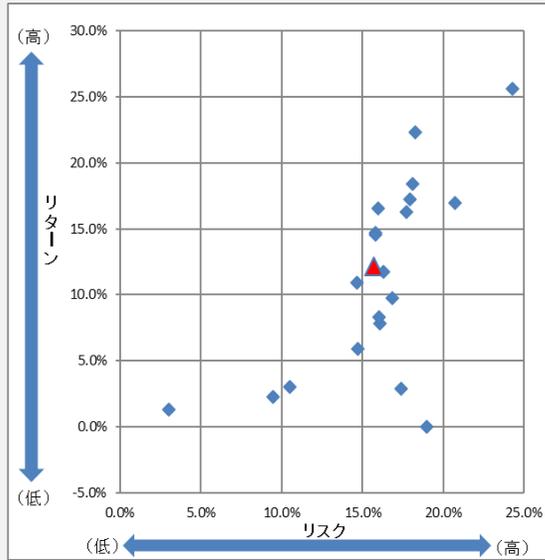


2024/3末 預り残高 上位20銘柄

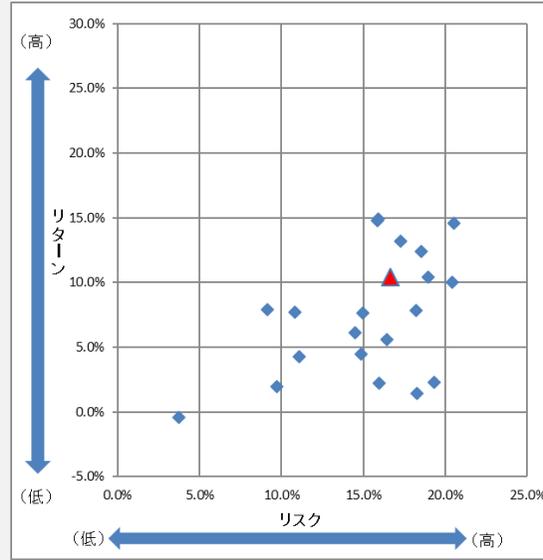
銘柄名	コスト	リターン
① キャピタル世界株式ファンド	2.36%	18.46%
② netWIN GSテクノロジー株式ファンド B (ヘッジなし)	2.75%	23.19%
③ ブラックロック・ヘルスサイエンス・ファンド (為替ヘッジなし)	2.33%	16.47%
④ イーストスプリング・インド消費関連ファンド	2.61%	20.16%
⑤ キャピタル世界株式ファンド年2回 (分配重視)	2.36%	18.76%
⑥ キャピタル・インベストメント・カンパニー・オープン・アメリカ	1.79%	20.42%
⑦ ひふみプラス	1.74%	11.06%
⑧ グローバル3倍3分法ファンド (1年決算型)	1.14%	4.99%
⑨ 野村未来トレンド発見ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	2.37%	20.67%
⑩ フィデリティ・USハイ・イールド (資産成長) D (ヘッジなし)	2.31%	10.58%
⑪ フロンティア・ワールド・インカム・ファンド	2.37%	8.47%
⑫ キャピタル日本株式ファンド	2.24%	12.82%
⑬ 日本好配当リバランスオープン	1.57%	16.76%
⑭ 新光凸ア・インド株式ファンド	2.72%	15.87%
⑮ 新光 US-REIT オープン	2.34%	7.66%
⑯ GS 日本フォーカス・グロス 年2回決算コース	2.56%	16.18%
⑰ グローバル3倍3分法ファンド (隔月分配型)	1.14%	5.01%
⑱ フィデリティ・USハイ・イールド (毎月) B (ヘッジなし)	2.40%	10.46%
⑲ フィデリティ・USリート・ファンドB (為替ヘッジなし)	2.31%	10.56%
⑳ フィデリティ・Jリート・アクティブ・ファンド	1.71%	4.59%
残高加重平均値	2.28%	16.79%

# 【投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI】② 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

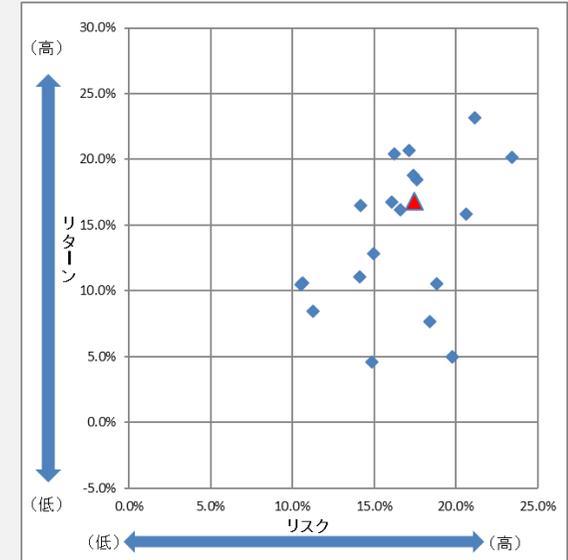
## 2022年3月末 リスク・リターン



## 2023年3月末 リスク・リターン



## 2024年3月末 リスク・リターン



### 2022/3末 預り残高 上位20銘柄

銘柄名	リスク	リターン
① キャピタル世界株式ファンド	17.70%	16.27%
② ブラックロック・ヘルスサイエンス・ファンド (為替ヘッジなし)	15.80%	14.71%
③ ひふみプラス	16.07%	7.83%
④ 野村未来トレンド発見ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	15.98%	16.58%
⑤ フロンティア・ワールド・インカム・ファンド	10.51%	3.05%
⑥ netWIN GSテクノロジー株式ファンド B (ヘッジなし)	18.24%	22.31%
⑦ アジア・オセアニア好配当成長株オープン (毎月分配型)	17.37%	2.89%
⑧ 新光 US-REIT オープン	16.83%	9.74%
⑨ ワールド・リート・セレクション (アジア)	16.01%	8.31%
⑩ 投資のゆりえ	2.99%	1.32%
⑪ ブラックロック・ヘルスサイエンス・ファンド (為替ヘッジあり)	14.66%	10.94%
⑫ MHAM豪ドル債券ファンド (毎月決算型)	9.45%	2.27%
⑬ グローバル・ハイオリティ成長株式ファンド (為替ヘッジなし)	17.94%	17.26%
⑭ ブラックロック・ヘルスサイエンス・F (為替Hなし/年4決算)	15.78%	14.59%
⑮ 新光ブラジル債券ファンド	18.97%	-0.02%
⑯ MHAM J-REITインデックスファンド (毎月決算型)	14.70%	5.89%
⑰ ワールド・リート・セレクション (米国)	16.29%	11.77%
⑱ グローバルAIファンド	24.29%	25.61%
⑲ netWIN GSテクノロジー株式ファンド A (ヘッジあり)	18.09%	18.43%
⑳ ロボット・テクノロジー関連株ファンド-ロボテック	20.71%	16.96%
残高加重平均値	15.73%	12.12%

### 2023/3末 預り残高 上位20銘柄

銘柄名	リスク	リターン
① キャピタル世界株式ファンド	18.55%	12.39%
② ブラックロック・ヘルスサイエンス・ファンド (為替ヘッジなし)	15.88%	14.89%
③ ひふみプラス	15.97%	2.23%
④ 野村未来トレンド発見ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	17.27%	13.19%
⑤ netWIN GSテクノロジー株式ファンド B (ヘッジなし)	20.53%	14.60%
⑥ フロンティア・ワールド・インカム・ファンド	11.08%	4.24%
⑦ 新光 US-REIT オープン	18.22%	7.87%
⑧ ファイデリティ・リリート・アクティブ・ファンド	14.47%	6.13%
⑨ ブラックロック・ヘルスサイエンス・ファンド (為替ヘッジあり)	14.96%	7.65%
⑩ ブラックロック・ヘルスサイエンス・F (為替Hなし/年4決算)	15.86%	14.76%
⑪ BNYXロン・リアル・リターン・ファンドBコース (為替ヘッジなし)	9.16%	7.90%
⑫ アジア・オセアニア好配当成長株オープン (毎月分配型)	18.29%	1.42%
⑬ 投資のゆりえ	3.72%	-0.44%
⑭ MHAM豪ドル債券ファンド (毎月決算型)	9.74%	1.95%
⑮ グローバル・ハイオリティ成長株式ファンド (為替ヘッジなし)	20.40%	10.03%
⑯ ワールド・リート・セレクション (アジア)	16.44%	5.58%
⑰ ファイデリティ・USハイ・イールド・ファンド (資産成長型)	10.81%	7.69%
⑱ MHAM J-REITインデックスファンド (毎月決算型)	14.85%	4.48%
⑲ 新光ブラジル債券ファンド	19.32%	2.27%
⑳ ファイデリティ・USリート・ファンドB (為替ヘッジなし)	18.92%	10.40%
残高加重平均値	16.67%	10.35%

### 2024/3末 預り残高 上位20銘柄

銘柄名	リスク	リターン
① キャピタル世界株式ファンド	17.61%	18.46%
② netWIN GSテクノロジー株式ファンド B (ヘッジなし)	21.15%	23.19%
③ ブラックロック・ヘルスサイエンス・ファンド (為替ヘッジなし)	14.17%	16.47%
④ イーストスプリング・インド消費関連ファンド	23.46%	20.16%
⑤ キャピタル世界株式ファンド年2回 (分配重視)	17.42%	18.76%
⑥ キャピタル・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ	16.25%	20.42%
⑦ ひふみプラス	14.13%	11.06%
⑧ グローバル3倍3分法ファンド (1年決算型)	19.79%	4.99%
⑨ 野村未来トレンド発見ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	17.14%	20.67%
⑩ ファイデリティ・USハイ・イールド (資産成長) D (ヘッジなし)	10.62%	10.58%
⑪ フロンティア・ワールド・インカム・ファンド	11.26%	8.47%
⑫ キャピタル日本株式ファンド	14.99%	12.82%
⑬ 日本好配当リバランスオープン	16.08%	16.76%
⑭ 新光ヒア・インド株式ファンド	20.64%	15.87%
⑮ 新光 US-REIT オープン	18.42%	7.66%
⑯ GS 日本フォーカス・グロース 年2回決算コース	16.60%	16.18%
⑰ グローバル3倍3分法ファンド (隔月分配型)	19.76%	5.01%
⑱ ファイデリティ・USハイ・イールド (毎月) B (ヘッジなし)	10.54%	10.46%
⑲ ファイデリティ・USリート・ファンドB (為替ヘッジなし)	18.82%	10.56%
⑳ ファイデリティ・リリート・アクティブ・ファンド	14.87%	4.59%
残高加重平均値	17.47%	16.79%

＜コスト・リターン、リスク・リターンの算出方法＞

対象ファンド： 投資信託の預り残高上位20銘柄(設定後5年以上)  
 コスト： 基準日時点の販売手数料率(税込)の1%と信託報酬率(同左)の合計値  
 リスク： 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)  
 リターン： 過去5年間のトータルリターン(年率換算)

※上記の数値等は過去の実績であり、将来のコスト・リスク・リターンを約束するものではありません。